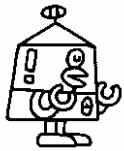


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

チューリップの花には、なぜがくがないの



チューリップの花は、がくが花びらに変化してしまったため
さ。花びらのうち外側の3まいは、がくが変化したものだよ。

花びらとがくが、見分けがつかない花も多い

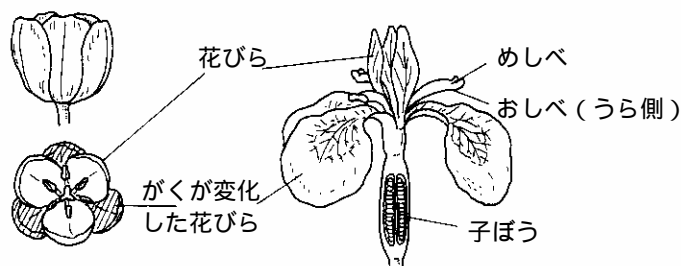
大きく開いたチューリップの花を上から見ると、内側の3まい、外側の3まいの花びらが重なり合って、6まいの花びらになっているのがわかります。このうち、外側の3まいは、がくにあたるものだったのです。がくは、つぼみのとき、花をつつんで守っています。がくと花びらが、見かけがにいていて、見分けがつかないような花は、ユリ、ヒヤシンスなどほかにもいろいろあります。

ハナショウブ、アヤメ、カキツバタなどのなかまは、外側にたれ下がった大きな花びらが、がくにあたるものです。

アジサイは、花びらに見えるのはがくで、中の丸いつぶが本物の花です。つぶの花がさくと、おしべが見えますが、めしべはなくなって、たねはできません。

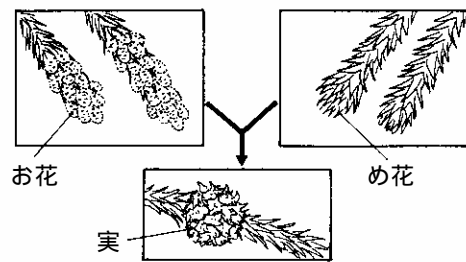
花びらがない花には、がくもない

スギ、マツ、ソテツなどの植物にも、め花やお花があり、花粉が風にとばされてめ花につくと、実ができます。でも、これらの花には花びらがなく、がくもありません。おしべやめしべの形も、よく見かける花とはちがっています。



チューリップ

アヤメ



スギ